

# 日本共産党あきる野市議団の一般質問

6月定例会市議会は1日から始まります。日本共産党あきる野市議団は、みなさんからの声を行政に反映させるため、全力でがんばります。わたしたちが6月議会で行う予定の一般質問をご報告します。ぜひ傍聴においでください。

**山根とみえ議員 1日1番目** 午前9時半から

## (1)安心して利用できる

### 介護保険制度の改善について



街頭で市議会報告

同居家族がいるという理由で生活援助の利用が受けられない問題で、厚生労働省は、一律に禁止をしないよう事務連絡を出しています。あきる野市の実態を問います。昨年、保険料が6段階から11段階に改善されましたが、低所得者の保険料をさらに軽減するようも求めます。介護現場で働く人の人材不足問題など事業所の実態を質問します。

## (2)公共交通に関する市の政治姿勢について

公共交通の充実単なる足の確保だけでなく、街の活性化や、高齢者・障がい者の外出支援、環境対策にもなるものです。今後の市内循環バスのあり方について、庁内検討委員会でどのような協議がされているか問います。

**戸沢ひろゆき議員 2日2番目** 午前10時半ごろ

## (1)環境都市あきる野について



残土の山を視察

市民誰もが自然豊かなまち、閑静で明るい文化的な環境都市を願っています。そこで次の4点について問います。以前から提唱している仮称「まちをきれいにする条例」の制定について。平井川新開橋下流に大規模な橋脚の工事が始まり、景観や自然環境が破壊されようとしていることについて、市側の考えを問います。御堂中西側の残土の山を今後どのように解決するのか。郷土の恵みの森事業の市民・事業者・市の協働の展望を問います。

## (2)秋川3丁目の温浴施設について

新都市建設公社の近隣住民に対する補償契約書は、まちづくりの専門家のはずの財団法人にあるまじき契約内容です。市側の見解を問います。

## (3)「納税者がお客さま」という

### 政治姿勢について

「納税者がお客さま」という立場に行政が立って業務を行うことの大切さについて、市長の姿勢を問います。

**たばたあずみ議員 3日1番目** 午前9時半から

## (1)男女ともに子育てできる

### 環境づくりについて



街頭で市議会報告

男性は外で仕事、家事や育児は女性の仕事とされている日本の現実、自治体としても積極的に乗り越えるべき課題です。こどもを持つ女性が、こどもの急病などで仕事を休まざるを得ない事態があります。

このことについて、病児保育の設置と、女性が社会で働くことを積極的に支援するようも求めます。当市の男性職員の育児休暇取得実績はゼロだそうです。育児休暇について市長はどう考えているのか問います。また、育児休暇取得のための働きかけや、市民の育児休暇取得支援策を取るようも求めます。

## (2)修学旅行・移動教室の負担軽減について

小学校の移動教室、中学校の移動教室・修学旅行に不参加者が出ています。その理由が経済的問題だとすれば重大です。義務教育の機会を守る立場から補助金の増額を求めます。

## 日本共産党市議団が 3つの意見書を提案

### 普天間基地を撤去し国外への移転を求める意見書

政府の責任において早期返還と、沖縄県民大会で示された3つのスローガン 日米地位協定の抜本的改定を求める 返還後の跡地利用を促進するため国の責任で環境浄化・経済対策など求める 返還に伴う地権者保障・基地従業員の雇用の確保を国の責任で行うようも求める意見書です。

### 消費税の値上げに反対する意見書

政府の中から消費税の値上げにより財源を生み出そうという意見が出始めています。消費税増税は市民生活に耐えがたい生活難を生んでしまいます。政府に消費税の値上げをしないよう求める意見書です。

### 子宮頸がんワクチン接種に対する国の助成を求める意見書

子宮頸がんワクチン接種に対する国の公的助成を求める意見書です。たばたあずみ議員、山根とみえ議員に公明党の田中千代子議員を加えた女性議員3名で提出します。